

会 社 名：株式会社九電工
 代表者名：代表取締役社長 橋田 紘一
 問合せ先：常務執行役員
 [経理・国際事業担当]
 檜垣 博紀
 (TEL: 092-533-0300)

シンガポール Asia Projects Engineering Pte Ltd 社の株式の取得について

当社は、平成 25 年 4 月 26 日開催の取締役会において、シンガポールにてプラントエンジニアリング工事及びメンテナンス工事を中心に事業展開する Asia Projects Engineering Pte Ltd (以下「APECO (アペコ) 社」) が発行する株式の 82.09%を、同社の個人株主 8 名から取得すること (以下「本件取引」) を決議し、同日付で株式売買契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. APECO 社の概要

(1) 会社概要

- ・ 設 立： 1970 年
- ・ 本 社： 32 Penjuru Road, Jurong, Singapore (シンガポール)
- ・ 資本金： 1.5MS\$ (≒1.1 億円) [1S\$ (シンガポールドル) ≒75 円]
- ・ 株 主： 個人株主 (8 名) 82.09%、バブcock 日立 17.91%
- ・ 経営陣： 会長は磯崎正男氏 (日本人)、社長以下各部門の責任者 8 名はシンガポール人及びマレーシア人
- ・ 従業員： 約 420 人：技術者 (約 120 人)、ワーカー (約 300 人) (2012 年 12 月末現在)
※国籍：シンガポール、マレーシア、タイ、インド、ミャンマー等
- ・ 業 績： 売上 71.7MS\$ (約 53.8 億円) /年、税引前利益 6.8MS\$ (約 5.1 億円) /年
(過去 3 年平均)
- ・ ウェブサイト： www.apeco.com.sg

[参考：シンガポール共和国 (The Republic of Singapore) の概要

- ・ 建国： 1965 年 (マレーシアから独立)
- ・ 面積： 約 710 k m² (東京 23 区とほぼ同じ)
- ・ 人口： 約 520 万人
- ・ 民族： 中国系 (74%)、マレー系 (14%)、インド系 (9%)、その他 (3%)
- ・ 一人当たり名目 GDP： 51,162US\$ (2012 年)
[参考：日本 46,736US\$、米国 49,922US\$]

及び東南アジアにおける当社の海外拠点]



(2) 事業領域及び主要顧客

事業領域		主な顧客及び実績	売上 構成比
EPC (※1)	地域冷房工事や発電所内ガス受入設備建設等、設計、調達、建設及び試運転まで請負う元請け工事	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール国内発電会社 ・シンガポール地域冷房公社 ・発電所内燃料備蓄タンク建設 	約 30%
プロジェクト	プラント建設現場等における工事施工（下請け工事）	<ul style="list-style-type: none"> ・バブコック日立【日系】 ・三井造船【日系】 ・三菱重工【日系】 	約 40%
メンテナンス	発電所や工場設備等についてアフターケアサービスを提供するメンテナンス工事	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール国内発電会社 3 社 ・セノコエナジー【日系】(※2) ・トゥアスパワー ・セラヤパワー ・セントーサ島ロープウェイ 	約 30%

※1 EPC： Engineering（設計）、Procurement（調達）and Construction（建設）

※2 セノコエナジー：九州電力が 15%を出資するシンガポール最大の電力会社

- ・ EPC 及びプロジェクトにおける売上高上位には多くの日系企業が含まれている。
- ・ APECO 社が本体工事を実施したものについては、メンテナンス工事を受注することが多い。

2. 本件取引の意義

当社は、中期経営計画（2010-2014 年度）の柱の一つとして「拡大再生産の実践」を掲げ、経営資源を有望な市場・分野に投入することとしております。

その中で海外事業については、既に進出している台湾に加え、新規に東南アジアをターゲットとし、当社が持つ技術・人材・ネットワークを活用して展開すると同時に、国内外での良好なパートナーを発掘し、アライアンスや資本参画によりパートナーが持つ経営資源を活用しながら展開する策も併せて推進する方針です。

シンガポールは東南アジア諸国の中心であり、そこで 40 年以上にわたり発電所工事やメンテナンス工事、プラントエンジニアリングや地域冷房等の工事で優れた実績を持つ APECO 社を子会社化し当社グループの一社とすることで、当社の強みである設備工事及び環境エネルギー事業・工事とのシナジー効果が期待できると考えております。

また、当社が昨年事業拠点を設置しましたマレーシア、ベトナムにおきましても、APECO 社が持つ人材・ネットワーク・ノウハウを活用することで、現地での施工管理をはじめとして効果的な事業展開が期待できると考えております。

3. APECO 社を活用した今後の事業展開構想

当社と APECO 社は、

- ① 当社及びグループ企業と APECO 社が持つ『技術と人材』
- ② 当社が日本国内で持つ『日系顧客とのネットワーク』と APECO 社が持つ『東南アジアでのネットワーク』
- ③ 当社が持つ『資金力』と APECO 社が持つ『収益力』

という経営資源をベースとして、『プラントエンジニアリング』と『設備工事及び環境エネルギー事業・工事』の事業領域を複合的にカバーする中でシナジー効果を実現していきたいと考えます。

具体的には、シンガポール国内のプラントエンジニアリング工事において、両社が持つネットワークを活用し技術力・施工力を増強することで、新規日系顧客獲得とローカル顧客の拡大を目指します。また、当社が持つ環境エネルギー事業・工事分野での経験を、シンガポールにおける ESCO (省エネルギーに関する包括的サービス提供) 事業等に活かすことで事業拡大の可能性を探る予定です。

一方、シンガポール以外の近隣諸国に対しては、APECO 社が有する多国籍人材の経験・スキルとネットワークを活用し、マレーシア、ベトナム等当社海外拠点で受注する工事の施工管理や、ミャンマー、バングラディシュ等の新興国における市場調査・開拓等を考えております。

以上